

①規格外や低未利用品の有効活用

長期優良住宅の床材に対応可能な北海道産カラマツの間伐材の三層パネル開発と販路開拓

有効利用が課題となっている道産カラマツ間伐材を使用し、住宅向けの床材に対応可能な三層パネルを開発・販売する。

➤ 連携体

農林漁業者 千歳林業(株)(林業)

豊富な森林資源、伐採の設備・労働力、森林管理技術を活かして、カラマツ間伐材を安定供給する。

中小企業者 (株)牧野(建築材料、鋳物・金属材料等卸売業)

研究開発成果を活かして製品仕様を企画するほか、ノウハウを活かして加工・施工を指導する。また、これまで培ってきた販路や営業ノウハウを活かし、商品を販売する。

連携参加者 (協)オホーツクウッドピア(木材・木製品製造業(家具を除く))

牧野の仕様に従い、牧野から加工設備の貸与を受けて、乾燥・接着の加工を行う。

サポート機関等 (独)中小企業基盤整備機構北海道本部

➤ 連携の経緯

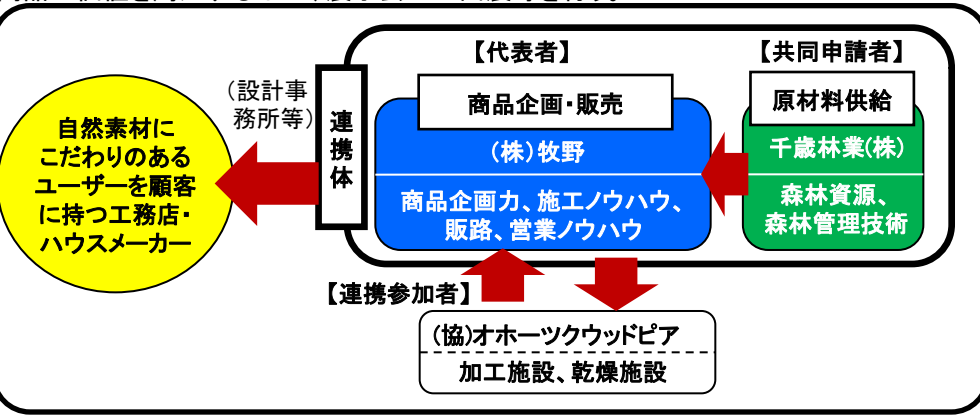
(株)牧野は、道産木材を原材料として安価な輸入品に対抗できる付加価値の高い商品づくりに取り組んできた。カラマツは、節が多く、製材の際にねじれ、曲がり、割れが発生しやすい等の問題があるが、同社は研究開発により、**全国で初めて北海道産木材で長尺サイズの三層パネルの商品化に成功**。無垢材に近い雰囲気があり、自然素材にこだわりのあるユーザーから引き合いがあるほか、ホルムアルデヒドの拡散が少ない接着剤を使うため、アトピー等の方にも優しい素材であるという特徴がある。

本計画では、住宅向け床材用の三層パネル(幅3尺×長さ6尺)の事業化に向けて、カラマツ林を豊富に有する千歳林業(株)、大規模な加工・乾燥施設を有する(協)オホーツクウッドピアと連携する。

➤ 連携に当たった課題や工夫等

(株)牧野は、新しいサイズの商品を実用化するために確立した乾燥方法等の技術を使って、(協)オホーツクウッドピアとともに安定的な加工を行う。更に、長期優良住宅にも対応可能な製品となるよう、各種試験を行う。

販路開拓は、自然素材にこだわりのあるユーザーをターゲットとして、新しい技術や商品に関心の高い設計事務所等に対して、商品の価値を周知するほか、展示会への出展等を行う。



➤ 連携による効果

農林漁業者 5年で約1,200万円の売上高増加、カラマツ間伐材の有効活用

これまで用途が限られてきた道産カラマツ間伐材を有効活用することにより、売上増加が期待される。

中小企業者 5年で約3,000万円の売上高増加

道産カラマツ間伐材による長尺三層パネルに加え、本事業による住宅向け床材用の三層パネル(幅3尺×長さ6尺)を開発・販売することで、売上増加が期待される。

➤ 代表企業等の連絡先

企業等名 : (株)牧野 伊達営業所
TEL : 0142-23-9677
E-mail : y-makino@e-makino.net

所在地 : 北海道伊達市松ヶ枝町9-91
FAX : 0142-21-2250
ホームページ : <http://www.e-makino.net>